NO.90 令和８年11月１日号

横手市議会だより

９月定例会

あなたと市議会



「光」　平成高等学校２年　高橋（たかはし）　香里奈（かりな）さん

主な内容

定例会ピックアップ…… 2
委員会審査報告…… 4
令和７年度決算審査…… 5
一般質問…… 8
ぎかいトピックス…… 14

作品のこだわりポイント！

　アクリル絵の具を重ね、筆でぼかしながら、透き通った水や波紋を表現しました。
　曇り空から差し込む光と水面の反射を描くことで、少女が水の中で感じる自由や解放感を表しています。

令和7年度各会計決算が認定される

9月定例会は8月24日から9月17日までの日程で開催されました。審議した案件の中から、特に注目する内容について取り上げます。

今定例会では、議案11件、専決処分の承認議案2件、令和7年度決算の認定10件などが提案されました。

7月末から8月初旬にかけての豪雨災害への対応のほか、行政サービスの効率化、公共施設の今後、農業や鳥獣被害、地域組織の負担軽減、そして人口減少を見据えた財政運営など、横手市の将来に関わる課題について幅広い議論が交わされました。

審議の結果、全議案が可決され、令和7年度決算10件も全て認定されました。

議案第81号 令和8年度横手市一般会計補正予算（第8号）

議案第81号は、一般会計を21億9,960万円増額し、予算総額606億2,340万円とする議案であり、降雹（こうひょう）被害への緊急支援、獣害防止対策、学校給食費支援など、市民生活や地域産業を支える事業が盛り込まれていました。

●庁舎管理費（各地域局）

予算決算委員会総務文教分科会において、市から令和9年4月以降、地域局庁舎における日直・宿直を廃止し、日直業務を本庁舎に集約させるため、増田・平鹿・雄物川・十文字・大雄の各地域局庁舎に防犯カメラなどを設置する予定であるとの説明がありました。

解説

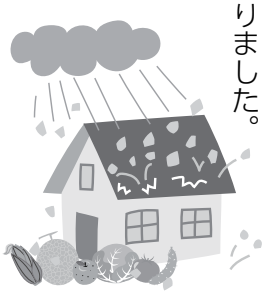
市では行政事務の効率化とコスト削減を実現するために、現在本庁舎と横手以外の各地域局において実施している休日等の日直業務を、令和9年度から本庁舎のみでの実施とし、併せて本庁舎以外の夜間宿直を廃止し、警備システムによる施設警備に変更する方針を示しました。

同様の対応は周辺自治体においても実施されていますが、移動手段がない方々のための丁寧な対応が求められます。

●農業災害等緊急支援事業

予算決算委員会産業建設分科会において、市から6月12日に発生した降雹により被害を受けた農家（果樹・花き）に対する支援事業の説明がありました。

委員から「降雹による被害額はいくらか。またどのような影響があったか」との質疑があり、市からは、「被害額については、果樹と花きを合わせ約2億円となっている。また、地域によって被害に差があり、1割程度のところから6割を超えるところまであるため、地域の被害率に応じた支援を予定している」との答弁がありました。



増田・平鹿・十文字地域の一部で降雹被害が発生

本会議最終日、起立採決の結果、起立全員により可決されました。

議案第78号 財産の取得について（消防団高視認性雨衣）

議案第78号は、横手市消防団員が雨天時に活動する際に使用する上下の雨衣（雨合羽）1978着を購入するための議案でした。

総務文教常任委員会において、市から当該雨衣は消防団員が悪天候や夜間等の状況下で活動する際に、安全性を確保するため視認性が高い被服である旨の説明がありました。

委員からは、雨衣のサイズと入札の経過と結果についての質疑がありました。

本会議最終日、採決の結果、可決されました。



採用となった高視認性雨衣

賛否が分かれた議案と審議結果

・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。
他は全会一致で可決されました。○：賛成　●：反対
※1　菅原正志議長は採決に加わりません。
※2　髙橋聖悟議員は監査委員です。

案件名 ＼ 会派・議員名		認定第1号 令和7年度横手市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定第10号 令和7年度横手市下水道事業会計決算の認定について	陳情8第7号 「日本こそ核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立つよう、横手市から国に対し意見書を提出することを求める」陳情
議決結果		認定	認定	不採択
表決数	賛成	15	16	8
	反対	5	4	13
市民の会	石岡恵美子	●	○	●
	江上　善一	○	○	●
	菅原　正志	※1	※1	※1
	大日向香輝	○	○	●
	菅原　恵悦	○	○	●
さきがけ	佐藤　誠洋	●	●	○
	築山　智	○	○	○
	青山　豊	●	●	○
	石川　拓也	●	○	○
	寿松木　孝	●	●	○
新政会	加藤　司	○	○	●
	土谷　久男	○	○	●
	小野　正伸	○	○	●
	加藤　雄太	○	○	●
	柴田　忍	○	○	●
創成の会	加藤　勝義	○	○	●
	本間　利博	○	○	●
公明党	土田百合子	○	○	●
	井上　忠征	○	○	●
日本共産党	立身万千子	○	●	○
青風会	髙橋　聖悟	※2	※2	○
こくみん横手	宮川　拓也	○	○	○

本会議の様子は、横手市議会ホームページからご確認いただけます。



解説　ちょっと教えて！　決算議会ってなぁに？



9月定例会は、「決算議会」とも言われるんだ。9月定例会では、前年度の一般会計や特別会計、企業会計の歳入（入ってきたお金）と歳出（使ったお金）の結果を検証するからなんだ。

決算審査は市長から独立した執行機関である「監査委員」から行政運営が適正かどうかや合理性などをチェックされてから、議会の予算決算委員会で専門分野ごとに詳しく審査するんだよ。

その後、本会議で採決し、認定（または不認定）かを決定するんだよ。

陳情8第7号　日本こそ核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立つよう、横手市から国に対し意見書を提出することを求める陳情

陳情8第7号は、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止を訴え、世界の平和に貢献するよう、横手市が国に意見書を提出することを求める陳情でした。

本会議最終日、賛成討論が行われ、起立採決の結果、起立少数により不採択となりました。

討論

賛成　立身万千子議員より、「唯一の被爆国である日本がまずは核兵器禁止条約に批准すべきと考え賛成する」との討論がありました。

不採択　陳情の審査結果

◆陳情8第7号　日本こそ核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立つよう、横手市から国に対し意見書を提出することを求める陳情
（新日本婦人の会横手支部　支部長　高階　泰子 氏）

7月臨時会の概要

7月21日に開催された7月臨時会において、※髙齢者応援商品券事業の補正予算案などについて審議し、採決の結果、起立全員により可決されました。

解説

※高齢者応援商品券事業…物価高騰対策として、75歳以上の高齢者に市内で使用できる商品券（一人当たり3,000円）を配布する市独自の事業のことです。9月下旬に配布されました。



厚生常任委員会

横手衛生センター改良工事の契約は妥当か？

◆工事請負契約の締結について（横手衛生センター基幹的設備改良工事）

問 51億円という大型工事であるが、仮契約業者以外が工事を行うことができない理由と裏付けはあるか。

答 メーカー6社に二度に亘って意向調査を実施したが、改良工事後の施設性能を保証できないという理由から、既存施設を建設した仮契約業者以外からは辞退届が提出された。他市においても同様の大規模修繕工事については、既存施設のメーカーと数十億円規模の随意契約を行っている例がある。



延命化を目指した工事が行われる横手衛生センター

厚生常任委員

加藤　雄太
立身万千子
菅原　恵悦
青山　豊
宮川　拓也
井上　忠征
石岡恵美子

産業建設常任委員会

工事請負契約増額の判断は適正か

◆工事請負契約の締結について（柳田工業団地拡張造成工事）

問 変更に伴う増額は発生土の処分費用と新たな土の購入とのことだが、発生土は国土交通省の「発生土利用基準について」で再利用するよう示されている。今回の判断はどのようにされたか。

答 土質調査の結果、セメント材を混ぜても利用できない土質であることが判明した。このため工事請負業者、建設部、企業誘致課の3者で協議し、新たに土を購入するという判断に至った。

■その他の質問

●ボーリング調査サンプル取得箇所について



工事中の柳田工業団地

産業建設常任委員

大日向香輝
加藤　司
寿松木　孝
加藤　勝義
江上　善一
小野　正伸
築山　智

総務文教常任委員会

全国高校野球選手権大会出場支援事業の内容は

◆令和8年度横手市一般会計補正予算（第6号）

問 旅行会社が実施した市民応援バスツアーに対して、市はどのような支援を行ったのか。

答 参加者の個人負担は3万円であったが、市からは旅行会社に対して一人当たり2万1千円ほどの補助を行った。また、高校側で用意した入場券の不足分を購入し、その他の支援として参加者へタオル・メガホンなどの応援グッズを渡している。

学校給食費支援事業補助金について

◆令和8年度横手市一般会計補正予算（第8号）

問 支援内容は。また、対象者は食物アレルギーによる児童・生徒だけか。

答 やむを得ず給食を食べられない児童・生徒の保護者に給食費相当額を補助するもので、給食費が有料の学校や不登校などによる長期欠席の場合まで対象を拡大する。



公平な市民サービスの提供を

総務文教常任委員

土田百合子
石川　拓也
佐藤　誠洋
髙橋　聖悟
柴田　忍
土谷　久男
本間　利博

厚生分科会

国民健康保険の現状と今後の見通しは

国保財政が厳しいと言われる中、財政調整[※2]基金に３億6800万円ほど積立てた理由は。

答弁 農業所得の大幅な増加と前期高齢者の加入割合による負担の不均衡を調整するための交付金が増加し、歳入が歳出を大幅に上回った。また、保険料水準の完全統一への加速化や、今後の課税所得の変動など先行きが不透明な部分もあり、国保財政の安定運営のため令和７年度に積立てを再開した。



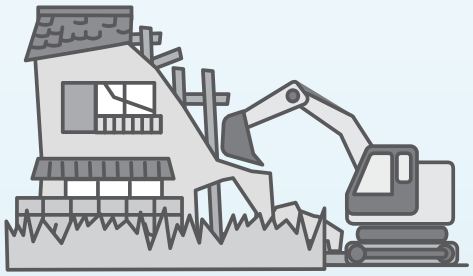
安定運営で市民の健康福祉を担う

厚生分科会

空き家解体費用の回収は

特定空家対策事業について、略式代執行[※1]にかかる解体工事費979万円と、設計監理及び工事管理費66万円は回収できないのか。

答弁 対象空き家の登記は亡くなった方のままであり、相続権のある方は全員相続放棄しているため、解体にかかった費用を請求する相手が存在しない。相続人不存在の理由により市が費用を請求できない案件だが、国から２分の１の補助を受けることができる。



空き家の適正な管理が求められる

産業建設分科会

高収益作物導入推進事業の要件は

規模を拡大しなくても補助の対象となるか。また、高温暑熱対策として散水設備、遮光・遮熱資材も対象になるが、要件は何か。

答弁 規模の現状維持でも補助率は低くなるが活用可能である。高温暑熱対策について、散水設備や遮光・遮熱資材等は事業費に下限があり、ある程度まとまった金額でないと申請出来ない。また、経営計画の聞き取りも必要となる。



気温上昇などに対応した生産設備が求められる

厚生分科会

病院事業の経営状況は

赤字経営が続いてはいるが、経常収支や営業収支など若干改善している部分もみえる。今後の経営をどのように考えるか。

答弁 令和７年度の横手病院の決算状況として、１億円以上の改善がみられるが、病床削減や物価高騰に対する補助金によるものと考えている。今年度は６月の診療報酬改定で入院単価が大幅に上がり、7月末時点で医業収益が１億2900万円ほど増加している。



引き続きの経営努力で赤字幅縮小を

※１ 略式代執行…所有者が分からない危険な空き家などを、行政が所有者に代わって強制的に解体・撤去する措置のこと。
※２ 財政調整基金…財源の不足や災害などの不測の事態に備える目的で、財源に余裕があるときに積み立て、不足する際に活用するための基金のこと。

総務文教分科会　電算情報管理費について

決算額が約７億５百万円だが、専門分野の経費は業者主導となる懸念がある。類似団体との比較・評価を行い基準を設けるべきでは。

答弁 電算情報管理費に係る経費は年々増大している。主な要因は費用の大部分を占めるシステムエンジニアの人件費の上昇が挙げられる。類似団体との比較は、これまで行っていなかったが、今後は予算が適正かどうかという点も含めて分析していきたい。



適正な費用負担で最適なサービス提供を

産業建設分科会　出前かまくらの事業実績や成果の見極めは

関西圏での出前かまくらは、横手市の認知につながっているのか。また、事業の実績や効果をどう見極めているか。

答弁 まず横手市を知ってもらい、興味を持ってもらうことを最大の目的としている。観光誘客推進事業の成果は、認知・関心・来訪・消費の４段階で捉えており、認知、関心については一定の効果があったものと評価している。



最小の経費で最大の効果が求められる

総務文教分科会　消防団への軽積載車の配備について

軽積載車を３台購入しているが、積載車が配備されておらず、個人の軽トラックで出動するケースはどのくらいあるのか。

答弁 市内にポンプ置き場は189箇所あり、このうち約100箇所については個人の軽トラックで対応している。人口減少、団員の減少など、様々課題はあるが、引き続き消防団の統廃合、各地域のバランスを考慮した配備と車両更新を進めていく。



令和７年度に配備された軽積載車

総務文教分科会　人口減少が進む中、今後の図書館の在り方は

地方交付税の算入基準として人口10万人以上に図書館は１つとあり、当市は人口に対する図書館の数が非常に多い。経営的にどうか。

答弁 全ての図書館について、ＦＭ計画上は「長寿命化」になっている。現時点では、「現状維持」と考えているが、人口減少等の諸課題を踏まえ、いずれ図書館の統廃合を検討していかなければならないという姿勢は持っている。



横手図書館が入り横手駅前の賑わいの中心になっている Ao-na（あおーな）

総括質疑

法律に準拠した債権管理を！

寿松木（すずき） 孝（こう） 議員



問 令和7年度に略式代執行で実施した空家除却費などが債権化されていないが、その処理について伺う。

答 民法では完成検査終了後に債権が発生するため、回収予定債権として管理していた。

問 令和5年に改正された空家法※1では、略式代執行が終了し、費用が確定した時点で債権が発生するとされていることから、法解釈に誤りがあったのではないかと推察される。早急に債権化を図るべきと思うがどうか。

答 結論としてはご指摘のとおりだ。略式代執行で実施した事業であり、債権化を行い、かかった費用の回収を目指すのは当然だ。早急に対応の見直しを図っていく。

今すぐ備えて、明日を安心に

石岡（いしおか） 恵美子（えみこ） 議員



問 国には災害時の代替庁舎を「特定している」と回答しているが、横手市業務継続計画※2（以下「BCP」）には「検討されていない」と記載している。一致しない理由は。

答 発災時に使用できる庁舎を確認し決定する流れのためだ。ただし計画書上は令和3年度以降見直せず、解体された施設が残る。速やかな更新が必要だ。

問 BCPで想定する地震が発生した場合、市の被害額と復旧費用の試算はあるか。

答 人的被害や建物などの数値は記載しているが、被害額を算定した数値はない。

問 市立病院で働く医師や看護師の確保と処遇改善のため、市の判断で独自に財源を出す考えはあるか。

答 企業会計であり病院の経営努力が前提だが、政策的な判断で議会の承認を得たうえで行うことはできる。

事業成果の分かりやすい公表を

本間（ほんま） 利博（としひろ） 議員



問 横手産品販路拡大事業について、生産者の所得向上はもちろん、横手市を多くの方々に知ってもらうためにも必要な事業と考える。今後の積極的な事業展開のために、事業評価を市民に分かりやすく公表するべきと考えるがどうか。

答 事業の評価・検証を行い翌年度事業に生かしている。同時に市ホームページで公開しており、今後も既存の取引先との関係を強化し、新たな市場の開拓を進めていく。

問 委員会等においては庁内DXの進捗が見えないと感じている。議場におけるタブレット使用についても考えを伺う。

答 令和7年度の公文書の電子決裁率は98％を超えている。また、委員会や全員協議会等、本会議以外の場でのタブレット導入によるペーパーレス化を進めるが、本会議場でのタブレット導入は、困難と認識している。

大雄地域の活性化策断念の発言の真意は

宮川（みやかわ） 拓也（たくや） 議員



問 市は、ゆとりおん大雄の営業を当面の間継続するとしたため、大雄地域の活性化策を断念したとのことだが、温泉事業の廃止の方向性が変わっていない以上、次の計画として活性化策を進めるべきではないか。

答 令和7年12月定例会において、議会がゆとりおん大雄の廃止案を否決したため、活性化策を断念した。温泉の建物が存在している限り今後の計画を作ることはできない。

問 議会が温泉事業廃止案を否決したのは、市にその後の計画がなかったからだと私は考えている。温泉があるうちに今後の活性化策を進めるべきではないか。

答 市の提案は、ゆとりおん大雄の廃止条例が可決されれば、大雄地域の活性化策を進めるというものだった。温泉の廃止が決まらない限り、その先の施設再配置について考えることは難しい。

※1 空家法…「空家等対策の推進に関する特別措置法」の略称。管理されていない空き家が地域に悪影響を及ぼすのを防ぐ法律のこと。
※2 横手市業務継続計画（BCP）…災害や緊急事態が発生した際にも重要な行政サービスを中断させず、迅速に住民対応を行うための事前準備の仕組みのこと。

11名の議員が市政を問う
ココが聞きたい！



９月２～４日に一般質問が行われ、11名の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらＦＭで生放送するほか、市議会ホームページで全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

二次元コードを読み取ると、動画をご覧いただけます。





◆ 加藤　勝義 議員 … 新副市長と新教育長への期待と抱負は　9ページ

◆ 土田百合子 議員 … 「田んぼダム」効果の普及啓発を！

◆ 立身万千子 議員 … 市内全域で均一な市民サービスの提供を　10ページ

◆ 宮川　拓也 議員 … 甲子園出場補助金の専決処分は適切だったか

◆ 江上　善一 議員 … 安心して出産・分娩できる環境づくりを　11ページ

◆ 築山　　智 議員 … 鳥獣被害の現状と課題解決について

◆ 加藤　　司 議員 … 横手の農業振興と関係人口創出の現状は　12ページ

◆ 寿松木　孝 議員 … クマ捕獲後の処理体制整備を図れ！

◆ 土谷　久男 議員 … 7月末・8月上旬の豪雨被害の復旧・復興は　13ページ

◆ 青山　　豊 議員 … ＡＥＤについての施策推進を！

◆ 佐藤　誠洋 議員 … 財務情報の議会への丁寧な説明と対話を！　14ページ

加藤 勝義 議員
かとう かつよし

新副市長と新教育長への期待と抱負は



問 新副市長と新教育長が、今9月定例会で初めてそろって出席された。両名から、所信と抱負を語ってもらう機会がなかった。まずは、市長から役割と期待を伺う。

答 佐藤茂宗副市長は、大森地域出身で、東京大学卒業後に総務省、石巻市副市長、山口県総務部長など国や多くの自治体で行政経験を積まれた。中央省庁との太いパイプがあり、心強い補佐役と期待している。また、木村司教育長は、雄物川地域出身で、秋田大学卒業後に、市内小学校の教諭や教頭、校長、横手市教育委員会教育指導部長など、横手市教育行政に精通され、かじを取って頂ける方と期待している。任期は、前教育長の残任期間令和8年12月までである。

問 市長から佐藤副市長に期待が示されたが、どのように受け止めているか。

答 30年ぶりにふるさと横手に戻ってきたが、積極的に元気なまちづくりに取り組んでいることを感じた。国や県、市での行政経験を踏まえて市長を支えていく。

問 市長から木村教育長へ期待が示されたが、どのように受け止めているか。

答 横手市総合計画や教育ビジョンに基づき、これまで進めてきた教育行政について、市長の期待と思いを受け止め、方向性を共有し教育の質の向上と、文化・スポーツの振興に努めていく。



新体制となった四役及び幹部職員

土田 百合子 議員
つちだ ゆりこ

「田んぼダム」効果の普及啓発を！



問 県は田※んぼダムの全県展開を視野に進めている。当市における県や土地改良区との連携状況や導入に向けた協議について伺う。

答 現在、県が実施している多面的機能支払交付金に係る説明会を通じて情報共有を行っている。今後は、県及び土地改良区の協力を得ながら、ほ場整備事業の新規地区に対する田んぼダムの説明会の開催や多面的機能支払交付金を活用している活動組織への働きかけ等を通じて、引き続き周知に努める。

●黒川地区の大雨災害対策は

問 大雨の際に氾濫の危険性が高まる、横手川・大戸川の合流地点のしゅんせつ工事の拡充と今後の余目・落合大橋付近の河川整備の考えは。

答 県に対し、河川掘削工事等の対策区間を従来よりも上下流の区間に拡充し、余目地区や落合大橋付近での河川整備についても早期に具体的な対策を講じるよう強く要望していく。

●おくやみ窓口について

問 お亡くなりになられた方の手続きを専門に行う、「おくやみ窓口」設置の考えについて伺う。

答 専用の場所を設けることは考えていないが、10月5日から本庁舎1階でワンストップ窓口の運用を開始し、おくやみの手続きもワンストップで対応する。予約制の導入や手続範囲の拡大については検討していく。



雨水を水田に一時的に貯めて時間をかけて排水する調整管

※田んぼダム…田んぼが持つ雨水を貯める機能を利用して、大雨のときの水流を抑え、下流の浸水被害を防ぐ取組のこと。

立身　万千子 議員
たつみ　まちこ

市内全域で均一な市民サービスの提供を



問 土日・祝日に地域局庁舎の日直業務が廃止され、本庁受付になることが公表された。来年4月の開始に当たり市民への説明方法は。

答 チラシの全戸配布、庁舎や各施設への掲示、市報や各種ＳＮＳ、横手かまくらＦＭなどにより分かりやすく伝える。

問 死亡届やクマの出没など緊急の場合はどうすればいいか。

答 直接本庁舎での手続きが難しい場合は、電話連絡のうえ、最寄りの地域局で受け付ける。緊急時でも市民への避難指示等の伝達方法は変更せず、従来どおり実施する。

●書かないワンストップ窓口導入について

問 書かないワンストップ窓口は市民にとってどんな効果があるか。

答 氏名と生年月日の聞き取りなどに基づき、職員が申請書を画面上で作成すると、複数枚記入する必要がなくなる。また、市民は1箇所に座ったままで手続きが完結するため、複数の窓口を回る必要がなくなる。

●全保健師の集約配置について

問 今年4月から保健師40名が横手保健センターを拠点に各地域局と包括支援センターに派遣され、活動をしているが課題はあるか。

答 担当保健師が変更された際の申し送りが上手くいかないケースがあった場合は、「保健師はいつでも市民の皆さんの元に駆けつける」という姿勢で対応していく。



横手保健センターで実施しているマタニティクラスの様子

宮川　拓也 議員
みやかわ　たくや

甲子園出場補助金の専決処分は適切だったか



問 時間がなかったとの理由で、議会を開かずに補助金の拠出を決められたが、もし議会を開くとしたらいつ開催できたのか。

答 7月24日の支援協議会※設立後であれば可能ではあったが、7月末を支援準備の期限としていたため議会を開催する時間がなかった。

問 他市では8月に入って臨時会を開いた事例もある。当市でも正規の手順を踏んで議会を開くべきだったのではないか。7月末が準備の期限だったという根拠は何か。

答 事前周知や協議のため、7月末を予算措置するための期限とした。

問 全国大会に出場する他の競技者は既存の少額の補助金制度で大会に臨んでいる。今回だけ新たな補助金制度を作り、多額の支出をすることの公平性をどう考えるか。

答 今回は57年ぶりという歴史的快挙であり、社会的波及効果の大きさもあるため、特別に新たな補助金交付を行った。

問 特別だからという主観によらず、公平に交付するために補助金要綱があるはずであり、要綱を変更するのはいかがなものか。

答 特例として、今回に限りこのような補助金要綱にした。

問 今回の補助金支給が適切だと言うなら、他の競技への補助金も増額するなど、適正なものに見直すべきではないか。

答 今のところ、現行のままでいきたいと考えている。



甲子園出場に対して市は総額1,430万円の補助金を支出

※横手高等学校全国高等学校野球選手権出場支援協議会…夏の甲子園出場に伴い、学校や同窓会などの関係団体によって設立された支援組織のこと。賛助金募集などの活動を行った。

江上 善一 議員
えがみ よしかず

安心して出産・分娩できる環境づくりを



問 市で出産を希望する方が、無痛分娩を選択できるのはどのような場合か。

答 市内の出産可能な2箇所の医療機関において、無痛分娩は医師が必要と判断した場合に限り実施されている。

問 3万円の出産祝金支給事業について、商品券の使用店舗の拡大や金額の増額、電子マネー決済の導入を検討してはどうか。

答 加盟店が拡充されるよう、横手市共通商品券実行委員会に要望し、支給の方法などは、これまでどおり地域経済効果を考慮し、横手にぎわい商品券を継続する。

問 無痛分娩を希望する妊婦さんの選択の幅を広げるため、追加費用の支援はできないか。

答 普通分娩費用との差額に対する支援については、国において令和10年度から保険適用とする議論がされているため、国の動向を注視していく。

問 人口減少対策について、もう一歩踏み込んだ施策が必要だと思う。「ちょっと支援する」ではなく、「横手市は本気で子どもを産み育てる家庭を応援している」と感じてもらえる起爆剤が必要だと思うがどうか。

答 産業振興、雇用創出、保健師を中心としたサポート体制を推進し、世帯所得の向上と全ての家族が希望をもって暮らせるよう子育て支援を進めていく。



新しい命とともに

築山 智 議員
つきやま さとし

鳥獣被害の現状と課題解決について



問 学校周辺でのクマの出没が相次いでいる。子どもたちの命を確実に守り、安心して学校に通わせるためには、登下校等の車両による移動が確実であると思う。現在は保護者による送迎を余儀なくされており、負担も大きくなっている。臨時でのスクールバスの送迎は検討されているか。

答 登下校時は目撃情報を迅速に共有し、市や警察でパトロールも行っている。令和7年度、一部の学校でスクールバスでの登下校を緊急的に実施した。今後も児童生徒の安全確保のため周辺状況に応じて可能な限り柔軟に対応していく。

問 クマの誘引物は必ずしも放置果樹とは限らない。道路脇のポイ捨てごみや不法投棄ごみ等がクマ誘引の原因になっているのではないか。今後どのように管理していくのか。

答 ごみ出しは収集日に出していただく、野外に放置しないことを周知している。道路脇のごみは、環境監視員が週に2回パトロールを行い、ごみ発見時には回収し、市が処分している。

問 今後クマを含めた鳥獣による農業被害が増えていくことが懸念される。どう抑えていくのか。

答 人身、農業被害を完全に防止することは容易ではないが、現在行っている支援や、様々な対策を継続しながら、引き続き被害防止に努めていく。



鳥獣被害防止のためごみ等の誘引物の適切な管理を

加藤　司　議員
かとう　つかさ

横手の農業振興と関係人口創出の現状は



問 市内農家の経営実態の把握は。

答 売上5千万未満の免税事業者及び簡易課税者が98％を占め、消費税率改定による影響を受ける。※1

問 資材高騰や消費税率改定に伴い、市独自の緊急支援策が必要と思うがどうか。

答 消費税率改定に伴い、特に中小経営体は甚大な影響を受ける。国・県の物価高騰対策や農業者支援の動向を確認し、速やかに対応すべく準備する。

問 インボイス登録や課税事業者への転換支援は。

答 国の具体的な対策が明らかになり次第、県やＪＡなどと連携し周知を図る。

問 農業経営安定化対策資金（マル農）の利子補給率改定の考えは。

答 現状はまだ考えていないが、今後起きうる事態に国・県の動向を見ながら情報収集し、対応する。

●ツーリズムにおける関係人口創出について

問 グリーン・ツーリズムの現状は。

答 横手市グリーン・ツーリズム協議会の会員は、発足当初の96名から現在29名に減少し、参加者も大幅に減少しているのが現状である。

問 既存の枠組みを超え、部局横断で分業型※2グリーン・ツーリズムの仕組みを構築してはどうか。

答 各部の持つ特色を分けたままでは、相乗効果が薄れる。部局の持つ強みをしっかりと連携させ、関係人口創出に取り組む。



りんごのもぎ取り体験をする
ツーリズム参加者

寿松木　孝　議員
すずき　こう

クマ捕獲後の処理体制整備を図れ！



問 猟友会と民間事業者との連携も視野に入れた解体施設の設置は考えられないか。また、安全に処理された肉などジビエを活用した新たな産業の育成を図るべきと思うが。

答 捕獲個体の増加や猟友会の現状から市としても解体処理施設が必要と認識している。産業化には、現状ではクマがほとんどであり、年や時期によって供給量に大きなばらつきも生じるなど課題も多いが、猟友会と協議を重ね検討していく。

●大雄堆肥センターの今後について

問 大雄堆肥センターでは大雄地域の各家庭から生ごみを収集しているが、現在では堆肥の原材料として必須ではなくなっていることから、市では大雄地域の各家庭にアンケート調査をした。これまで20年以上続けられてきた事業だが、その結果を踏まえ市としての方向性を示すべきと思うがどうか。

答 市が実施したアンケート結果では、「今後は燃やすごみとして収集したほうがよい」との回答が70％だった。また、回答した世帯の過半数で生ごみの分別はされておらず、大雄地域だけで生ごみを収集する本事業は廃止の方向で検討していく。

■その他の質問

●通年議会の実施について



現在大雄堆肥センターで
収集している生ごみ

※1 消費税率改定による影響…政府方針である食料品の消費税減税が確定した場合、売上１千万円以下の免税事業者では、仕入分の消費税の還付を受けられず、売上げや利益の減少につながるおそれがある。
※2 分業型グリーン・ツーリズム…宿泊・食事・体験の提供などを集落や地域全体で役割を分担して観光客を受け入れる仕組みのこと。

土谷 久男 議員（つちや ひさお）

7月末・8月上旬の豪雨被害の復旧・復興は



問 被害状況について伺う。

答 横手・山内地域を中心に、住家の一部損壊が1棟、床下浸水が延べ20棟、非住家への床下浸水が延べ8棟、法面や路肩の崩落、土砂流入などによる道路被害が35箇所、橋りょうの流失が1箇所、河川被害が9箇所で発生した。また、JR北上線や農林業の被害も甚大だ。

問 山内地域の堰堤（えんてい）は古く、崩壊、または堰堤を超えて土砂が流入した。今後の対応は。

答 今回の大雨災害では、山間部に降った雨により、土砂を含んだ水が斜面の木々をなぎ倒しながら、道路や農地、住宅敷地などに流出する被害が多く発生した。市民インフラを確保する観点から先般の専決処分による予算を活用し、道路上や道路脇に堆積した土砂や流木等、順次撤去作業を進めている。

問 農地・農業用施設・土砂流入地等の復旧の目途はいつ頃つくのか。

答 現在、市の単独の災害復旧事業の受付をしている。市ホームページでも周知しており、被災した農業者や水路・農道などの施設管理者の方には、市の助成を活用し、復旧を進めていただきたい。

●防災行政無線について

問 防災行政無線の重要性について考えを伺う。

答 老朽化した防災無線をなくす方向性は変わらない。緊急時はSNSやエリアメール等で対応し、情報連絡体制の確認強化に努める。



山内地域の流木及び、
土砂流入被害の様子

青山 豊 議員（あおやま ゆたか）

AEDについての施策推進を！



問 市ホームページに記載されているAED（自動体外式除細動器）マップは市の公共施設のみである。それ以外の施設も記載すべきではないか。

答 民間事業所等が管理するAEDについて、外部で公開されているAEDマップのリンク先を市のホームページにて紹介することにより市民の皆様の安全安心につなげていく。

問 市内におけるAED設置の普及啓発について伺う。

答 救命講習に加え、事業所や各種団体等への情報提供など、様々な機会を活用しながら、設置の必要性について周知し、自主的な設置につながるよう、普及啓発に取り組む。

●街路樹や都市公園内等の樹木における維持管理について

問 維持管理の方針について伺う。

答 樹木の状況や課題を各地域局と共有し、定期的なパトロールを行いながら、剪定や伐採などの維持管理を進めている。

問 「横手市道路異常情報連絡フォーム」に寄せられる情報の多くは「穴ぼこ」だ。街路樹等の樹木の情報を今以上に通報できるための工夫が必要ではないか。

答 システムの名称や周知方法の見直しを行うとともに、入力項目の整理などを検討する。

■その他の質問

●町内会・自治会の今後は



市消防は積極的に地域に出向き、
AED講習を行っている

財務情報の議会への丁寧な説明と対話を！

佐藤　誠洋　議員
さとう　まさひろ



問 財政調整基金、減債基金[※1]の適正な規模について、2基金の残高を標準財政規模の10％とする現行の財政計画の方針は不適切ではないか。短期資金の備えも足りず、中長期的なインフラ更新と深刻な人口減少を見据えた場合、現在の基金残高は少額ではないか。

答 議員のご指摘は一つの考え方として捉え、今後基金のあり方を研究していきたい。

●国民健康保険特別会計から一般会計への繰入とその活用について

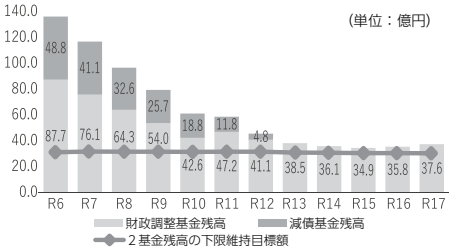
問 かつて一般会計から国保特別会計へ法定外繰出しした、約9億円は使用しないまま埋蔵金として基金に積まれた。市の国保財政の現状は財政的にも潤沢である。この埋蔵金を計画的に一般会計に戻し、困っている市民のために経済対策などに活用すべきではないか。併せて、水道料金が上がり過ぎないよう、中山間地域などにおいて国でも勧めている分散型システム[※2]を導入して、料金の上昇を抑える対策をするべきではないか。

答 繰入金は使途が決まっている分を除いて既に活用しており、今後、一般会計に返還する考えはない。また、上水道の分散型システムは、実証実験を行い、地域の状況に合わせて判断していく。

■その他の質問

●財務書類4表と横手市財産経営推進計画（FM計画）の課題について

横手市の基金残高の見込み



令和８年度版 わかりやすい予算書より「横手市の基金残高の見込み」

議場へようこそ！

あやめ大学の皆さん

９月２日、平鹿地域のあやめ大学の皆さんが、市議会の取組を今後の活動の参考とするため、一般質問の傍聴にいらっしゃいました。



市民に寄り添いながら良い方向にもっていってくれることを期待します。

佐藤（さとう）　幸子（さちこ）さん
（あやめ大学 運営委員）

生の声を聞いて真剣に議論しているのが分かりました。

武内（たけうち）　節子（せつこ）さん
（あやめ大学 学生）

あやめ大学の皆さんが市議会を傍聴した様子は、10月12日放送の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。

※あやめ大学…平鹿地域に居住する60歳以上の方で構成される学びの場のこと。
詳しくは浅舞地区交流センター（TEL 24-1340）にお問い合わせください。

※1 減債基金…借金返済が集中して財政を圧迫しないよう、返済する資金をあらかじめ計画的に積み立て、借金を返済していくための基金のこと。
※2 分散型システム…上水道の供給について、集落や建物単位で小型の浄化・循環装置を設置して水を供給・処理する仕組みのこと。大規模工事が不要な分、安価に供給できる。

横手市議会だよりモニター会議

７月16日に議会だよりモニターの皆さんと広報委員が集まり、議会だよりモニター会議を開催しました。

モニターの皆さんからは、読者の目線で読みたくなる紙面にするためのいろいろなご提案をいただきました。







議会だよりモニター会議の様子は８月10日の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。

議会の主な動き

7月

1日 宮崎県綾町議会行政視察受け入れ
2日 岩手県北上市議会行政視察受け入れ
7日 広報分科会
東京都東大和市議会行政視察受け入れ
8日 茨城県つくばみらい市議会行政視察受け入れ
9日 千葉県松戸市議会行政視察受け入れ
13日 埼玉県白岡市議会行政視察受け入れ
15日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会（議案説明会・行政課題説明会）、総務文教常任委員会協議会
16日 全国市議会議長会産業経済委員会（東京都）
議会だよりモニター会議【P15】
21日 市議会７月臨時会【P3】
22日 島根県松江市議会行政視察受け入れ
23日 秋田県市議会議長会定例会（能代市）
24日 全員協議会（行政課題説明会）
28日 厚生常任委員会

8月

3日 北上市・西和賀町・横手市議会議員研修交流会
6日 会派代表者会議
10日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会（秋田市）
18日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会（議案説明会・行政課題説明会）
24日 市議会９月定例会（～９月17日）【P2～14】
31日 広報分科会

9月

3日 全員協議会（行政課題説明会）
7日 総務文教・厚生・産業建設常任委員会（～８日）
8日 厚生常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会
14日 正副委員長会議、議会運営委員会
15日 広報分科会
28日 広報分科会

あなたと市議会 第90号
■発行日：令和８年11月１日
■編　集：広報広聴委員会
■発行：横手市議会
〒013-8601 秋田県横手市中央町８番２号（本庁舎６階）
TEL 0182-32-2535
E-mail gikai@city.yokote.lg.jp
URL https://www.city.yokote.lg.jp/

青春キャンバス色

秋田県立平成高等学校卓球部

平成高校卓球部は女子５人、男子６人の計11人で活動しています。活動日は毎週月、火、木、金、土曜日で、土曜日は午前中に活動しています。普段の練習では、基礎打ちやサーブ・レシーブなどの基礎練習から技術的な練習まで幅広く取り組んだり、実際の試合を意識した練習を行ったりして、技術の向上を目指しています。一人ひとりが自分の課題と向き合うなかで、できなかったプレーができるようになるなど、少しずつ自分の成長を実感しています。

また、普段から部員同士の仲が良く、明るく楽しい雰囲気の中で声を掛け合いながら練習しています。時には楽しく、時には真剣に、お互いを支え合いながら日々切磋琢磨し、大会では目の前の試合を最後まで諦めず全力でプレーすることを大切にしています。少しでもいい結果を残せるように、これからも部員全員で協力し、楽しく一生懸命に活動していきます。

秋田県立平成高等学校卓球部 女子主将　松井（まつい）　玲愛（れな）



ダブルスの練習の様子

横手かまくらFMで市議会情報を知ろう!

横手市議会では、市議会の活動や取組を議員自らの声で紹介するＦＭ番組「もっと教えて！横手市議会」を放送しています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送するとともに、定例会最終日や臨時会当日の夕方には、会議の結果もお知らせしています。ぜひお聴きください。

今後の放送予定

11/9　正副議長インタビュー
11/23　12月定例会のお知らせ／行政視察報告（議会運営委員会）

好評放送中
横手かまくらFM **77.4MHz**
もっと教えて！横手市議会
毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前７時30分～



令和８年11月９日放送「正副議長インタビュー」

市議会ホームページで過去の放送内容をお聴きいただけます。

分かりにくい議会用語などはこちらで解説しています

分かりにくい議会用語が他にもございましたら、議会事務局までお問い合わせください。

横手市議会公式Facebookページ

タイムリーに情報発信中ページへの いいね! お待ちしています。

編集後記

全国的に大雨災害が起こってしまった今夏。横手市も例外ではなく、７月末と８月初めに激しい雨に見舞われました。実は青山家も二度にわたって勝手口と物置に水が入ってきてしまい・・・いまだかつてなかったことでしたのでショックでした。そろそろ冬への備えですね。万全に！　（青山　豊）

広報広聴委員会　広報分科会

分科会長　江上　善一　副分科会長　石岡恵美子
委員　土谷　久男　土田百合子　青山　豊
築山　智　加藤　司

次回発行日のお知らせ　次号（No.91）の発行は令和９年２月１日の予定です。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。